

「コロナショック」で考える松浦への移住。

移住・定住
支援情報

青大新聞

Vol.27



交流密度が低い。車での移動が多く不特定多数との接触が少ない。



接触密度が低い。マスクの入荷が遅いが手作りマスクや材料は買える。



正確な緊急情報を迅速に地域や各ご家庭へ配信。

一番のメリットは 子どもの暮らし。

生活が大きく変化した今、松浦の暮らしは都市と比べてどうか？
移住者の視点で考察します。

総じて一番メリットに感じるのは、子どもの暮らしの伸びやかさ。都市では自宅の敷地内（ベランダなど）で、テントを張ったりレジャーシートを敷いたりして、アウトドア気分を楽しむ家族が増え、公園へ散歩に出かけても人が多くひやひやするそうです。

一方、松浦では、公園以外にも自宅の庭や近所の海や川など遊び場はたくさん。また、親の通勤のほとんどは車。公共交通での通勤が多い都市と比べて不特定多数の接触が少なく、感染の心配も少なくて済みます。

信頼できる情報は、 地域の方が得やすい？

緊急事態時、都市では多くのメディアから自分が住むまちの情報が得られるものの、情報が錯綜し混乱を招くことも。

松浦は、緊急事態の内容を市役所が防災無線などでいち早く発信。都市部より情報は少なくともより正確な情報が得られて安心。今回のコロナの影響で、都市から地域への移住ニーズはますます高まりそうです。



松浦市 大人の学び場
青の大学

＼ 松浦を知ろう！学ぼう！楽しもう！ くわしくは「青の大学」で検索 /

政策企画課 ふるさと納税・魅力発信室 info@ao-university.com ☎0956-72-1111

松高だより

■新入生研修～2日間の研修に取り組みました～

4月10日・13日の両日、8日に入学式を終えたばかりの新入生が研修に臨みました。新入生は「真の松高生」になるために、各種講話・集団行動・礼法指導・校歌練習などに取り組みました。研修を終えた新入生の表情からは、2日間の研修をやり遂げた自信と、これから松高で3年間学ぶ誇りがうかがうことができました。



■まつナビ・プロジェクト

～松浦市との協働教育活動がバージョンアップ～

本校では3年前から、松浦市との協働教育活動「まつナビ」に取り組んでいます。松浦市が抱える様々な課題について、生徒たちが調査・研究し、改善策の提言・実践を行います。本年度から3年間、文部科学省の研究指定を受け、従来2年生だけで行っていた「まつナビ」を、1年生と3年生にも拡大した、「まつナビ・プロジェクト」にバージョンアップしました。

2年生は4月14日、班ごとに活動内容の説明を受けた後、班長を選出するなど、本年度の「まつナビ・プロジェクト」の活動がスタートしました。

